

五城目町の主な統計 ⑩

工業、事業所数、従事者数(割合は南秋を100)

製造品出荷額等 昭43.12.31調査 44.8月県統計課発表

区分	事業所数	従事者数	製造品出荷額等	出荷額割合
五城目町	42年 116	1,626人	388,483万円	%
	43年 117	1,773	432,523	49.3
昭和町	50	376	74,967	8.5
八郎潟町	18	124	24,051	2.8
飯田川町	20	600	234,710	26.7
井川村	17	243	38,461	4.4

五城目報

発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課
 電話 (018876) 代 2100番 毎月 1日発行
 印刷所 湖東印刷所 電話 (018876) 2430番 (一部五円)
 昭和37年12月5日第3種郵便物認可 郵便番号 018-17

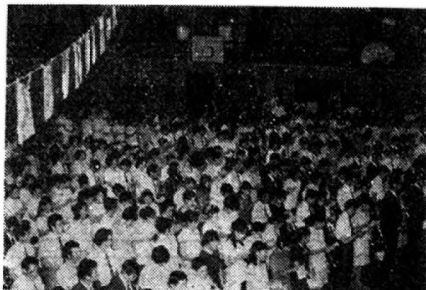
・ 秋田県五城目町 ・

※ 町政と町民をむすぶ広報紙



新成人の手に

自由、個性、生命、意志、感謝、勤労、社会の火



成人式

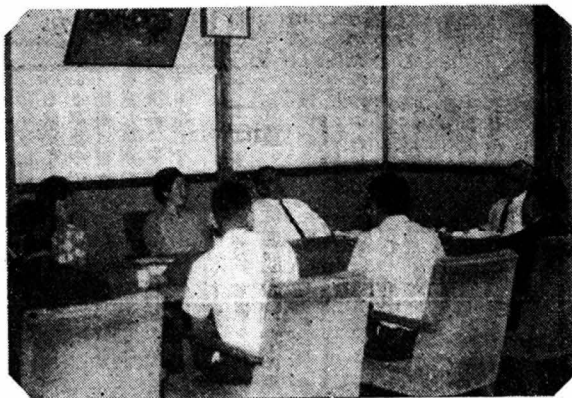
8月15日の新成人のつどいは午後5時半から式典、7時半から夕べのつどいがグラウンドいっばいにくり広げられた。

町民と話し合う日

8月19日第1回目の「町民と話し合いの日」午前9時30分から4時まで切れることなく話し合いが続いた

◇9月のおもな行事◇

- 1日 防災の日 愛の血液助け合い運動(～30)
- 5日 明るく正しい選挙推進協議会
- 6日 消防幹部会
- 9日 消費者座談会
- 12日 結核予防婦人会総会
- 13日 議会全員協議会
- 15日 敬老の日、老人福祉週間
- 16日 議会運営委員会
- 17日 9月定例会招集
- 19日 火災予防組合役員会
- 21日 家庭の日
- 23日 秋分の日
- 24日 監督者研修会



【町民と話しあう町長】

出米秋はもう間近い、今年の稲作の重点は最から質へ転換された。無計画になりがちな消費態度の健全化や農業経営の合理化に努め経済もまた量から質へ転換したいもの。

このほど発表した県の商業統計調査によると四十二年七月一日から四十三年六月三十日まで年間販売額は卸小売飲食店合計で三、六六九億円、これは好況による勤労所得の上昇と農作による農村部の消費需要の盛り上がり原因といつては特微的だとのこと。

収入役

世界はまさにコンピューター時代に入った、情報産業などと耳新しい言葉もきかされる。

アメリカの月への着陸成功もコンピューターの力によるときいているが、コンピューターを開発し駆使するのは人間の頭脳であることを忘れてはなるまい

お盆もすぎてこれからさわやかな初秋の季節に入る秋ともなれば種々な行事が盛たくさんにある。健康に留意し身辺を整理してさわやかな初秋を思う存分満喫したいものだ。

ことしの新成人の門出を祝う成人式は先月十五日に新しい趣向で挙行され立派な成人振付に心が躍るおとくった一人だが欲を云えばもっとと全町民の盛上りを期待したいものだ。



《ごみ収集日》

家から出るごみ収集日は次のとおりです。

町名	9月			10月
	1回	2回	3回	1回
希望ヶ丘	4	13	25	4
希田	4	13	25	4
今町	5	17	26	5
御蔵	5	17	26	5
小池	5	17	26	5
川原	7	20	30	10
新町	6	16	24	3
一番	6	16	24	3
古川	6	16	24	3
新川	9	18	27	7
新場	9	18	27	7
紀久	7	20	30	10
長町	1	11	23	1
仲町	1	11	23	1
米沢	1	11	23	1
築地	3	10	19	8
畑町	3	10	19	8
昭辰	2	12	22	2
雀館	2	12	22	2
中川	2	12	22	2
館原	2	12	22	2
岩城	2	12	22	2

※収集者の巡回について、次の事項にご協力下さい。

- 1、収集車が町内を巡回する前に各自ごみ容器を道路へ出しておくこと、また容器の近くに収集車の邪魔になるような物を置かないように。
- 2、収集車が入って行けない小路に面している方は当日巡回道路まで容器を適当な場所へ持出しておいて下さい。
- 3、ゴミ容器には名前をつけて下さい。

◎ゴミ処理手数料2期分は9月30日納期限です。



町から

町内の家庭と役場を結び
専用電話〔3711番〕
ミニナイ

一日から町民のみなさんと役場を直接結び専用電話を設置しました。この電話は町に対する、ご要望ご意見、苦情等を受け付けるほか簡易な用件も受け付けます。「例えば戸籍、住民票の謄抄本を何日の何時頃まで何通作っておいてもらいたい」と言うようなこと」設置場所は秘書室ですが、住民課窓口、総務課へも切替えが出来ます。
お気軽にご利用下さい

たばこは 町内から

県民 予約は十日までに
手帳

毎年秋田県統計協会で発行している県民手帳昭和四十五年用ただいま募集中です。
価格は百円で県内のおもな行事豊富な最新の統計資料、充実した名簿編、便覧編で携帯便利なポケット型です。

一日から

児童 生徒血圧の測定

県医師会では全県児童、生徒の血圧の実態を把握すると共に目下進捗中の全県成人血圧検診結果との連関を究明し、県民血圧管理の基礎的資料とする重要なもので一日から次の日程で行われる。

一日午前九時～正午大川小、中
三日午前九時～十一時三〇分 杉沢小、中
午後一時～二時三〇分馬川小
五日午前九時～正午馬場目小

▲九月のしおり▼

台風シーズンに備えましょう

九月は台風シーズンです。つぎの点を守り、被害を自ら防止するという心がけが必要です。

- ① 台風が近づいたら
- ② 気象情報をよくきき判断する
- ③ 早目に家やヘイを補強しておく
- ④ 停電に備えて懐中電灯、ロケット、トランジスタラジオ等を用意しておく
- ⑤ 家の周囲を見回って、溝や下水の流れをよくしておく
- ⑥ 大雨が続くと地盤がゆるみ、

敬老会の日程

昭和四十四年度敬老会は去る八月二十九日から森山地区をかわきりに催しされている。このあとの日程は次のとおりです。

富津内地区 富津内東小
一日 午後一時三〇分
大川地区 大川中 二日
馬場目地区 馬場目小 三日
杉沢地区 杉沢小 四日
内川地区 内川小 九日
五城目地区 町民ホール 十日

―愛媛県から―

本町の国土調査視察に

愛媛県国土調査推進協議会一行十五人は五日に本町の国土調査事業を視察に来町する。

がけくずれの危険があるので十分注意する。

衣 替 え

九月も十日すぎになると、そろそろ衣替えの用意です。すず風が立ちはじめると、色あざやかな秋もの衣類に気がとられ、うすよくれた夏ものなど早く消えてしまえばいいのに：など、さんざんご末をつい忘れがちになります。もういらなくなった夏ぶとなどを押入れの下敷きしておかないで早目に手入れしておきましょう。ついでにカーテン、すだれ、扇風機の掃除も忘れずに。

「納税、納付金に理解を」

地区別に組合長会議

町では八月二十一日各地区別納税、納付組合長会議を内川地区から催していたが、二十九日の五城目地区で全日程を終了した。

昭和四十四年度の課税状況、徴収方針、国民年金、それに納税組合の運営などがおもに話しあわれた。課税状況について一番関心深いのは国保税で、医療負担増大で例えは自己負担一日千円かかる人は三千円以上かかっている計算になり、国保税の役目は大きいといえるようです。

戸加入組合の一〇〇%納期内完納三%同納期外二%、任意加入組合の一〇〇%納期内が二%同納期外一%となり、ほほ他町村並になったもの組合長の動揺もあり今後よく連絡をとり長納力をいれられて行くことにした。

年金は掛け忘れのないようにして下さい。それは各種年金が支給されないことが強調され、忘れることのできない納付金です。また国民年金が九五%以上納付した場合、衛生、福祉、水道の施設の事業資金として低利で融資され、町の財政に大きな役目をはたしていることなど紹介された。

十二日

第六回教育振興大会

教育委員会では十二日午前九時から五一中で町教育の振興を図るため、学校、家庭、社会における教育の一貫性を保ち、相互に理解協力することによって教育効率を

高めること、この点を教育委員会では重視し、計画的であり、しかも現場に即した研修をしようとするもので、当日は教育委員、事務局職員、幼、小、中学校の教職員中央公民館職員並びに地区公民館長等百八十五人が出席する。

午前八時三十分～九時まで委員の研究論文、各種実態調査とその対策、書画、手芸、生花、創意に用いる教具、統計図表、写真などの展示物を見学のと、振興大会は畑沢教育委員長のあいさつのおと教育功労者の表彰、加賀谷町長の町政一般説明、小林教育長の「町教育について」広嶋町内校長会長の「学校教育について」また委員の研究発表では五城目小学校教諭小野一二の「五城目町社会科資料編集委員会の歩み」、大川中学校教諭三戸ユウの「母親文庫について

」が行われることになっている。このあとアトラクション親善体育、懇談会があり終了することになってる。

農業委員会会長に

沢田石氏を再選

農業委員会の人事はこのほど全部決った、今後の活躍が期待されている。会長沢田石広治、会長職務代理者武田新市、県農業会議員嶋崎喜一郎

農地部会

◎は部長 ○は副部長 ◎安田鶴治、◎金野勇、佐々木賢一郎、北嶋嘉一、石井勇蔵、武田新市、畠山正一、伊藤勇、小船屋理石エ門、加藤甚之丞、佐川俊雄

農政部会

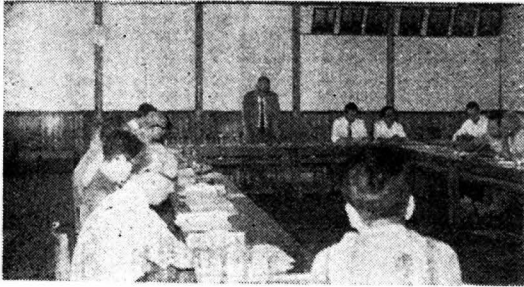
◎伊藤幸雄、◎佐々木仁光、佐々木忠雄、伊藤博、斎藤正美、椎名良悦、工藤鉄雄、沢田石栄之助、嶋崎喜一郎、加藤茂松

川向橋を

永久橋に

町では、さる七月末の豪雨で流失した西野ノ矢場崎の川向橋に対して災害の手續きを申請、永久橋にかえるよう申請した。なお仮橋をかけるよう九月定例会に提出する。

カメラ・ルポ
商工業代表者と座談会



8月1日町内で用をたす運動の一環として商工業代表者との座談会が開かれ意見を交換しあった。

杉の化石



このほど養護老人ホーム庭園の杉の化石が話題をよんでいる。これは佐々木千代吉氏(蓬内台)から送られたもので老人たちは大喜びをしている。

老人福祉大会



8月20日町民ホールで老人社会福祉大会約500人が集り、町長、議長らの祝辞を受け、その後小畑知事夫人の講演、希望者演芸があり楽しい1日をすごした。

十月十日の体育の日

体力づくりで全国表彰

本町は十月十日の体育の日に盛岡市で行なわれる体力づくり全国推進大会の席上、体力づくり優秀組織町として全国表彰されることになった。

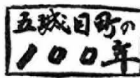
全国体育文化祭に

卓球、演劇など出場

本町の体育づくり運動は三年前から始まり、現在体育指導委員会など六指導機関が設置され、体育保険衛生、栄養改善に対する各種団体が一致して取り組んでいる。とくに四十二、三年に社会体育モデル町に指定されたから職場体操家庭バレーボールなどの普及、各地域生活学校、栄養学級などをつくったほか保健衛生関係にも力を入れ、今回はこれら町民の健康増進、体力増強に総合的な運動を展開

第二十三回全県体育文化祭で優勝した卓球をはじめ演劇などが十一月八日から十日まで東京で行われる。団体、個人は次のとおりです。

演劇「出稼ぎ」富津内青年会小玉恵一外十四人、卓球宮城正一郎外五人、走高跳一関三重子(久保)



消防の記録 1 (11)

小野 一 二

火災は現代風でいうならばハブニングなアクシデントということが出来る。地震さへ予報が可能というところまでできているが、火災は全く予報も予知もできない。危険なハブニングに対して消防組織は不断の警戒をしなければならぬ。

町の消防組織がいつ発足したかはっきりと裏づける記録はないがただ一つ「五城目消防組第二部記

開、普及実践に著しい効果があったとして表彰されることになった

11月8〜10日於東京都

秋田県文学祭作品募集

短歌 俳句 川柳 創作 など

県教育委員会、県芸術文化協会では第十一回秋田県芸術祭の文学部門の行事として開催される文学祭を機会に文学作品をひろく募集して、県民の創作意欲をたかめようとするもの

- ①種目、制限、資格
②授賞、入賞作品の発表
③応募の注意

①種目、制限、資格
短歌、俳句、川柳
は各一〇首(句)
を二編とし、創作
は二〇、〇〇〇字
を二編とする。
応募は一人、一種目一編で
未発表の作品であること
ハ、応募者は県内在住者
②授賞、入賞作品の発表
イ賞作品のうち優秀な作品に
は県文学賞を授与し、入選作
品は「秋田県優秀文学作品集」
に収録する。
③応募の注意

イ応募作品は四〇〇字詰原稿用紙にインクで楷書で書くこと
ロかなづかい、現代かなづかいを使用すること
ハ応募原稿のはじめに、応募種目、氏名ならび号(ふりがな)住所、職業、年令を明記のて
④締め切り 九月末日 ただし創作部門は十月九日までとする
⑤あて先 秋田市山王四丁目一の一 秋田県教育庁社会教育課 封筒表面に「県文学祭応募作品」と朱書すること
不明の点ありましたら中央公民館へ問合せ下さい。

天体を観測する会

20日五小、27日馬川小で

五城目地区公民館では秋の夜空の神秘と月世界へ旅行に夢を託しながら、天体を観測する「天体を観測する会」次のような内容で実施する。

環境美化の焦点 護岸を巡つてみて

お盆前に河川等の護岸を中心に各町内、部落会の協力を得て、一大清掃をした。一通りその美化をはかりました。が、去る八月十九日各護岸を巡視してみても、相当整理されているが、今後一層の環境美化を進めるため、広く住民の関心と協力を望むものです。

録」というのが今日保存されている。記録者は渡辺道蔵氏である。それによると大正時代は二度の大

火に町はおそわれている。その二つを第二部の記録から抜いてみよう。

大正二年八月八日

小池町柳田政治宅より午前一時半頃出火。風強くありしが次第に微風となり幸と思ひたりしが突風となり、小池町の西側全部、御

蔵町の西側長谷川作也宅まで、仲町は東側全部、米沢町東側福島佐助宅まで、仲の小路全部類焼。各消防組は大活動せり。因に五城目署管内消防組全部の応援あり、当二部は目ざましい活動せり。
大正十年十月十三日
川原町森沢順吉宅より午後十時二十分出火。当時は東微風なりしが次第に風転換強風となれり。五城目消防組は死力をつくして消火に当るも効なく、火勢は段々と増大し、ついに二百四十四戸全焼、非住家二十七棟全焼、九戸半焼、潰家六戸という数字となつてあらわる。
消防手の負傷者十数名にて組員

の類焼者十三名を教へ五城目消防組員は無気夢中で死を決して大活動せり。又応援消防組は五城目署管内の消防組全部と飯田川消防組の応援あり。十四日午前二時半鎮火す。この日は永久に町民の頭にきざまれるであらう。
これが「順吉火事」と呼ばれている未曾有の大火である。焼失地は川原町、長町、古川町、仲町新町、新丁で、主な焼失した建物には五城俱樂部、五城目、石川旅館小玉屋旅館、五城目郵便局、船川銀行支店、福祿寿、菊地庄之助宅三浦医院、白土写真館、米田酒造加藤呉服店、貝田呉服店、鍋由呉服店、五城座などで、料理店が十三

家族をろつて秋の夜空をながめたのしいひとときをすごされるよう会へ参加しよう。
日時、場所二十日(土)午後六時三十分〜八時三十分(五城目地区五城目小学校、二十七日(土)午後六時三十分〜八時三十分(馬川地区)馬川小学校
▽内容①はじめの会②おはなし③天体について「ギリシャ神話」④観測▽指導第二地区理科研究会員▽用意するもの、天体望遠鏡のある方はご用意ください。

(おの頃つづく)